



SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Jul.2027

INDEX

1. サンシングループ 経営理念
2. サンシングループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report（品質）
7. ESG Report（環境）
8. ESG Report（地域貢献活動）

我々はお客様を愛し愛される 徳のある商人を目指し 世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせていただきます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～



自身の経営貢献

- 経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- 自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- 若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- 経営事業報告会や月次/週次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- 年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- 社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケ・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- 資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジ法・QC検定・MBA/MOTなど）
- 工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- 社員の働く環境の整備
 - ① 育児休業中の給与補助
 - ② 育児短時間勤務中も給与維持
 - ③ こども手当
 - ④ 介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤ 在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥ 扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦ 勤務間インターバル制度
 - ⑧ 時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨ メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）
 - ⑩ パワーランチ制度による昼食負担軽減
 - ⑪ オフィスグリコによるリフレッシュ効果
- 「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- 副業兼業可能

ネットワーク

- 新入社員へのメンターによるサポート
- 入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- 社内交流会、懇親会、コンパの開催

TOP MESSAGE

全国各地で梅雨明けを迎え、連日、非常に厳しい暑さが続いている。消防庁によると、7月13日～19日までの1週間に熱中症で救急搬送された人は全国で1万人を超えた。都道府県別では大阪が最多で、愛知、東京と続く。熱中症への厳重な警戒が必要である。

職場においても熱中症対策は必須となる。厚生労働省によると、職場での熱中症による死亡者及び休業4日以上の上業務上疾病者数は、昨年1,803人にのぼり、一昨年に比べて約43%増加、過去最多を記録した。「災害級の暑さ」という言葉が非常に現実味を帯びている。

仕事に集中したり納期に追われたりしていると、自身の体調変化に気付くのが遅れたり、異変を感じても無理をしてしまう危険性がある。めまい、吐き気、頭痛、倦怠感などの症状がみられる場合、すぐに対応することが重要となる。自身だけでなく周囲の体調にも気を配り、お互いに声を掛け合うことを大切にしたい。

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

2026年の夏の土用の丑の日は7月26日です。実は夏以外にも土用の丑の日があるのをご存じでしょうか。「土用」とは五行思想に基づく季節の変わり目を意味する雑節（ざっせつ）で、四季の四立（立春、立夏、立秋、立冬）の直前の約18日間を指すのだそうです。このため、夏以外の季節にも土用の丑の日は存在するのですが、夏の暑さに対する滋養強壮としてウナギを食するという習慣があることから、一般には夏のイメージとなっているようです。（Y.Y.）

SANSHIN West

最近各地で地震が多発しています。梅雨時期と重なり、土砂崩れなどの二次災害の心配もありましたが、梅雨が明ければ今度は熱中症の心配もあります。今年も酷暑日予想が出ているため、防災グッズに熱中症対策用品を加えてみてはいかがでしょうか。季節ごとに見直すのは大変ですが、備えておけば安心です。（Y.S.）

SANSHIN Hong Kong

身の回りのほぼすべての地域で平均気温が年々上昇しており、節水や節電などの日常的な行動が地球温暖化を少しでも緩和する鍵となります。私たち一人ひとりの生活と密接に関わるこの問題に対して、照明は使用後すぐに消し、人がいなくなったら必ず灯を落とす習慣を心がけ、家電を使用していないときはプラグを抜くかコンセントのスイッチを切ることでスタンバイ電力の無駄消費を防ぎます。また、夏のエアコン設定温度を1~2℃上げ、冬の暖房を1~2℃下げるだけで、快適さをほとんど損なわず顕著な節電効果が得られます。一方、節水ではご飯を炊く水や野菜を洗う水を花の水やりなどに再利用し、野菜や食器を洗う際は蛇口を直接流さず水をくんで行うことで大幅に使用量を抑えられます。さらに、シャワーを浴槽代わりに活用し入浴時間を短くすることで、水の消費を効果的に減らすことが可能です。（W.C.）

SHINKOWA

もうそろそろ梅雨明けになりそうですが、なんとも暑い日が続いておりますね、気温が高くななくても湿度が高いと“ムッ”として体にまとわりつく湿気、とても不快ですね。就寝時もクーラーをつけっぱなしにしたいですが、電気代を考えると2~3時間のOFFタイマーをかけて寝ますが、寝不足にならないよう気温・湿度が高い時はクーラーをつけっぱなしで...。（M.N.）

SC2

【ウマ娘】静岡大学の馬場で、馬にキャベツを食べさせようとした人がいて炎上。馬はアブラナ科の野菜を食べると最悪死に至ります。このケースは「馬が好きそうなもの」を人間が勝手に想像して押し付けており、その動物にとって良いかどうかの視点が欠けています。今年は午年。意外と知らない馬の生態など、夏休みに調べてみるのも良いですね。（M.I.）

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質状況

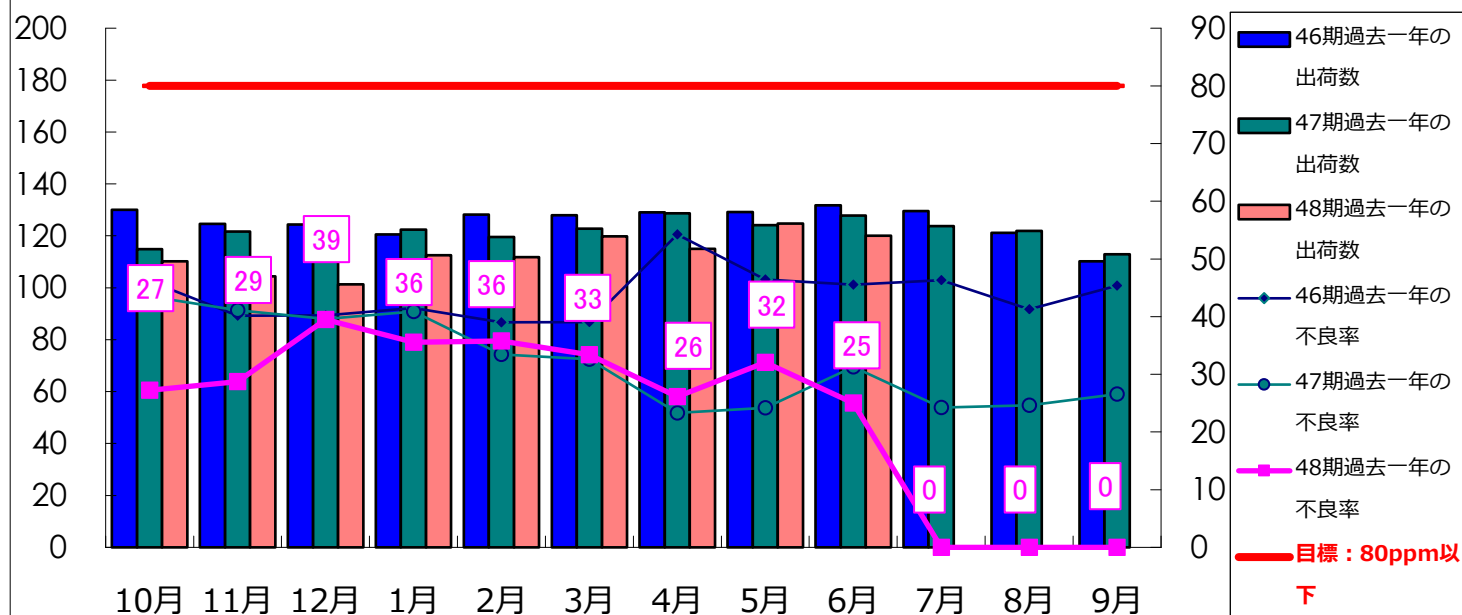
納入品不良率（目標：80ppm）
48期の累計不良率(解析依頼含む)：25ppm

客先クレーム（目標：2件以下）：0件

48期 市場不良率「ユニット製品」

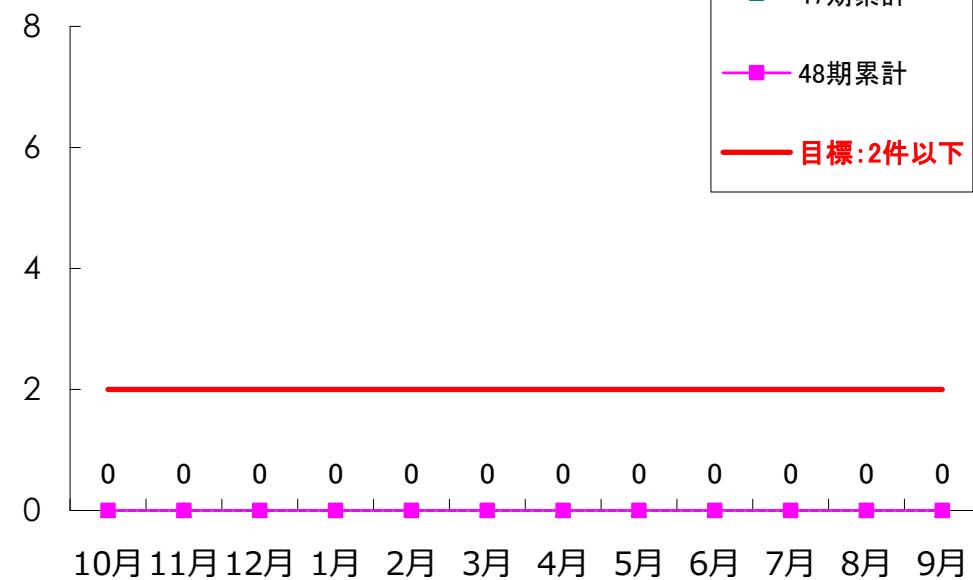
出荷数(K)

累計不良率(PPM)



48期 客先クレーム

件数

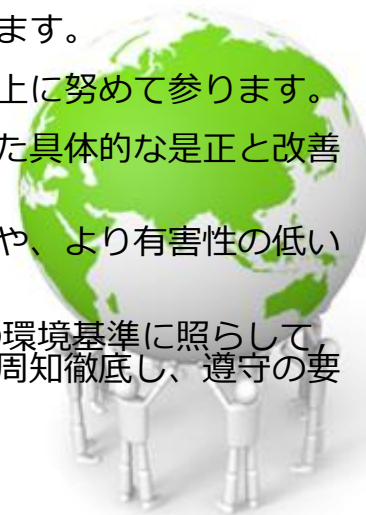


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

■ 首都高カーボンニュートラル戦略とは？

世界的な課題である気候変動の原因は、温室効果ガスの排出が大きな原因の1つとして考えられ、国家や企業、団体などさまざまな単位による削減の取り組みが必要とされています。そんななか、東京都区部とその周辺地域の都市高速道路である「首都高速道路」もカーボンニュートラルの取り組みに力を入れていることをご存じでしょうか。

☑ なぜ首都高がカーボンニュートラルを目指すのか

首都高速道路(以下、首都高)が、なぜカーボンニュートラルを目指すのでしょうか。いま、世界中で「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」というカーボンニュートラルの動きが加速しています。日本政府もこの目標を掲げ、多くの企業や団体が取り組む中、首都高にとっても、これは大きな課題と言えました。

なぜなら、首都高は単なる道路ではなく、1日約100万台の車が走る日本の経済を支える巨大インフラでありながら、膨大な二酸化炭素が排出される場所だからです。そのため、首都高は2021年に「首都高カーボンニュートラル戦略」を策定し、次世代に持続可能な都市環境を引き継ぐことを目標としました。

☑ 目指すは持続可能性と利便性

この戦略が目指すところは、ただ「環境に優しい」という点ではありません。持続可能性を追求すると同時に、都市の利便性を犠牲にしない脱炭素を目指す、という大きな特徴があります。

持続可能性については、気候変動が進んでしまったら、極端な豪雨や災害が増え、首都高の機能は停止して、物流が麻痺すること考えられます。そういった事態を回避するためにも、首都高は環境対策を進め、安全に走り続けられる道路を守らなければなりません。

ただ、これを実現するために車の利用を制限するといった手段を取ってしまったら、利便性が損なわれてしまうことも事実です。そのため、今まで通り、あるいは今まで以上に便利に移動しながら、結果として二酸化炭素を出さない仕組みを作ることが最大の狙いとなっているのです。

TOPICS

■ 首都高カーボンニュートラル戦略の目標

☑ 2030年の中間目標

首都高カーボンニュートラル戦略では、2030年に以下のような中間目標を設定しています。

- ・ 自動車交通によって排出される二酸化炭素を約3割減
- ・ 事業活動によって排出される二酸化炭素を約5割減

こちらは2019年の排出量を基準としたもので、当時の自動車交通から排出された二酸化炭素は159万t、事業活動によって排出された二酸化炭素は8万tとなっています。そのため、2030年には自動車交通から排出される二酸化炭素が110万t、事業活動によって排出される二酸化炭素が4万tという目標になっています。

☑ 2050年のゴール

そして、ゴールとなる2050年には「排出量」と「吸収量」が均衡する、プラスマイナスゼロの状態。つまりはカーボンニュートラルの実現を目指しています。

その手段としては、自助努力だけでなく、既存のネットワークをAIやデジタル技術で管理、自動車メーカーと連携した次世代自動車の普及などが挙げられています。

TOPICS

■ 達成するための3つの主要アクション

☑ 再エネ導入とLED化

首都高には広大な面積を持つ施設があるため、それをクリーンエネルギーの拠点として活用します。パーキングエリアの屋根やトンネルの入り口の壁面、道路脇の遮音壁などに太陽光パネルを設置。ここで発電した電気をトンネル内の照明や換気ファンに充てる仕組みを広げています。他にも、約14万灯ある道路照明を順次LEDへ切り替えることで、消費電力を大幅に削減。パトロールカーなどの業務用車両をEV(電気自動車)に切り替え、事業活動から出る二酸化炭素の削減を目指しています。

☑ AI渋滞対策

渋滞の削減も道路における脱炭素につながります。なぜなら、車が止まったり進んだりを繰り返すとき、エンジンやモーターはよりエネルギーを消費して多くの二酸化炭素を排出するからです。

首都高カーボンニュートラル戦略では、これを避けるためにAIとDXを使った交通マネジメントの推進を掲げています。膨大な走行データをAIで解析し、数時間後の渋滞を予測。ドライバーに最適なルートをリアルタイムで提案することで、交通量を分散させるなど、最新の技術によって二酸化炭素の削減が期待されているのです。

☑ 路面上給電

首都高カーボンニュートラル戦略で触れられている最新技術は他にもあります。それは、EV普及を支えるインフラ整備に重点を置いたものです。EVに乗っていると、高速道路で充電が切れてしまう不安がつきまわります。

これを解消するため、短時間で充電できる「急速充電器」の設置を戦略的に推進。長距離移動のハードルを下げ、社会全体のEVシフトを後押しします。さらに、将来的には「走りながら路面から電力を供給してもらう」といった技術の研究も進んでいます。これは従来のケーブルによる充電ではなく、パーキングエリアの駐車場や路面で、ワイヤレスの給電が可能となる技術であり、実現すればEVは重いバッテリーを積む必要もありません。

TOPICS

■ カーボンニュートラルのために私たちができること

このように、首都高ではカーボンニュートラルに向けた取り組みが進められています。ただ、世界的なカーボンニュートラルを実現するためには、国や企業だけでなく、消費者である私たちの努力も必要です。では、カーボンニュートラルのためにできることは何があるのでしょうか。一番身近なところと言えば、ごみの削減が挙げられます。もっと具体的な手段としては、リサイクルやリユースを徹底することです。リサイクルは分別を徹底することで、ごみの再資源化に貢献し、新たな製品もゼロから新しく作るより少ないエネルギーで作れる、省エネにつながります。

リユースに関しては、再利用を意味する言葉で、そもそもごみを出さないため、廃棄物を処理するためのエネルギーを削減できます。さらには、リユースでモノが繰り返し使われれば、新しい製品を作る必要もなくなり、製造時の二酸化炭素排出を抑えられるでしょう。マイボトルやマイバッグの利用、フリマアプリによる売買もリユースに該当する行動です。昨今では、さまざまな形でリユースを実践できるため、ぜひモノを手にする・手離すときは、意識してみてください。

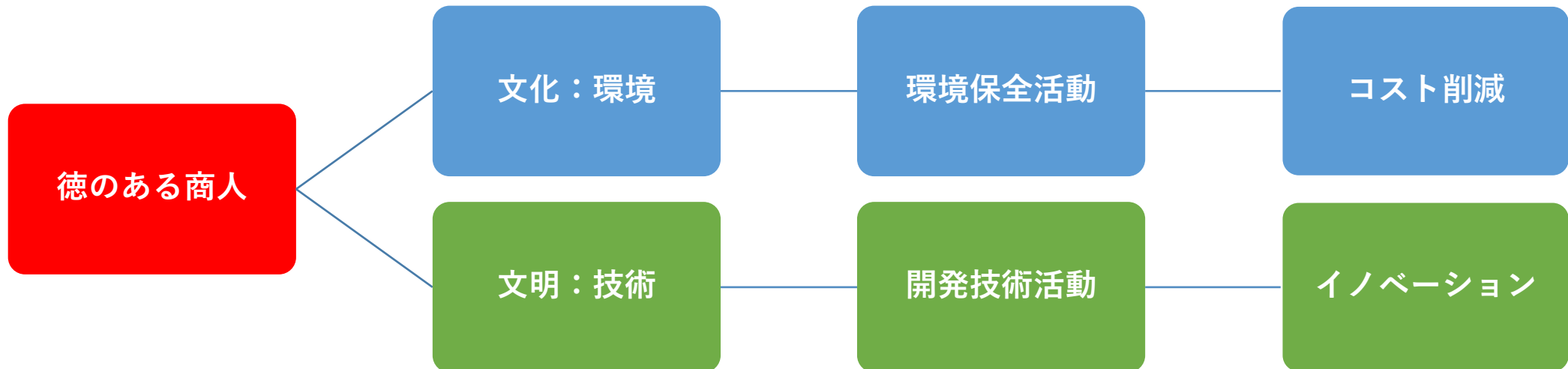
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

＊サンシングループ経営理念

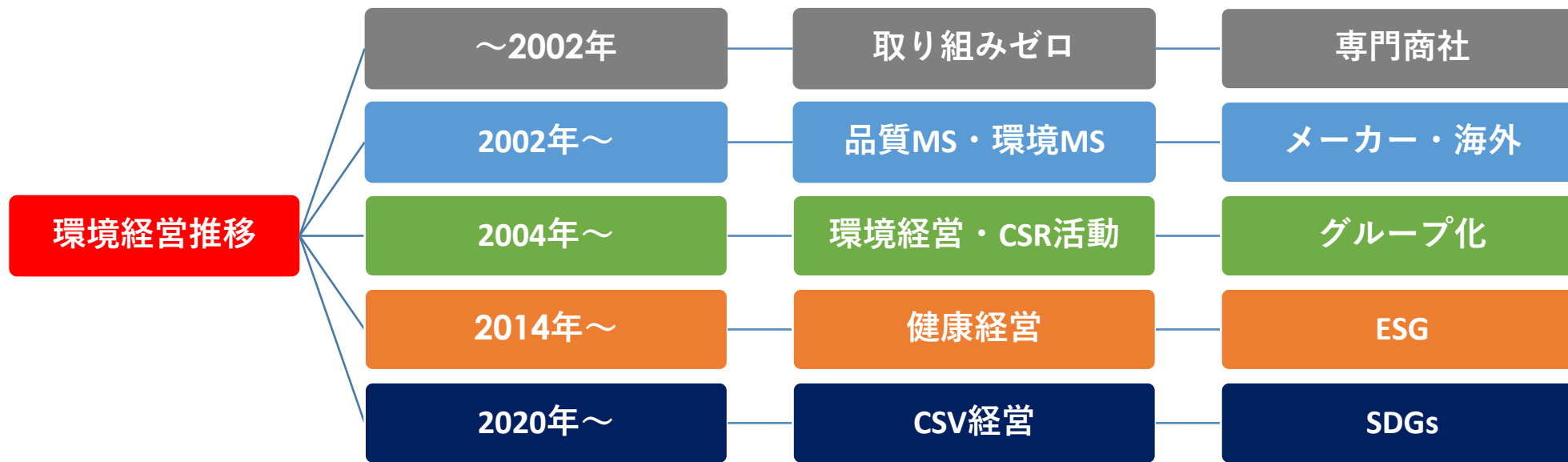
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識.

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで環境MSを整備.

2004年～

グループ企業体の発足に伴い経営理念を創設. CSRを能動的に展開.

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定.

2020年～

CSV経営を宣言，ESGとSDGsを重視.

3. コスト削減実績

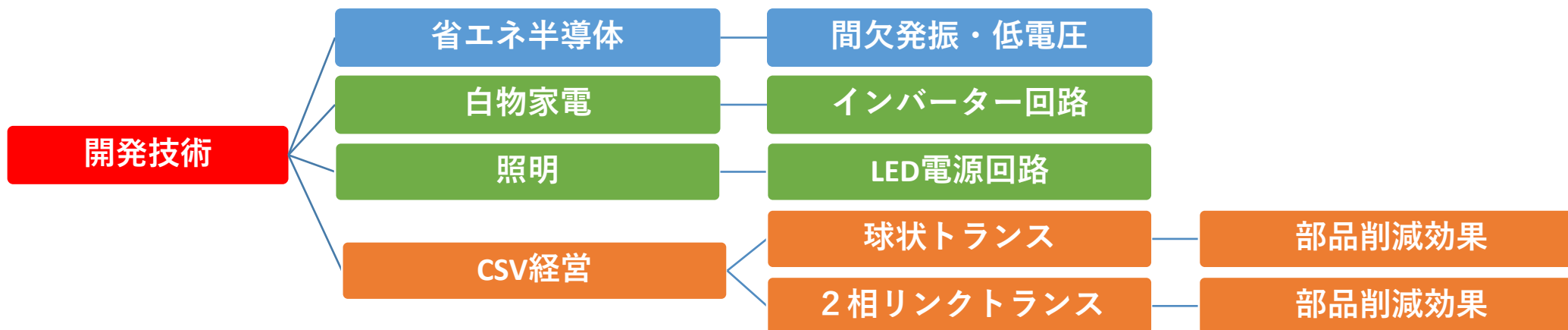
- **紙/ゴミ/電気**，三種の神器，徹底削減の継続
- **テレワーク**による電気/交通費削減
- 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
- 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
- コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント

⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト＝価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

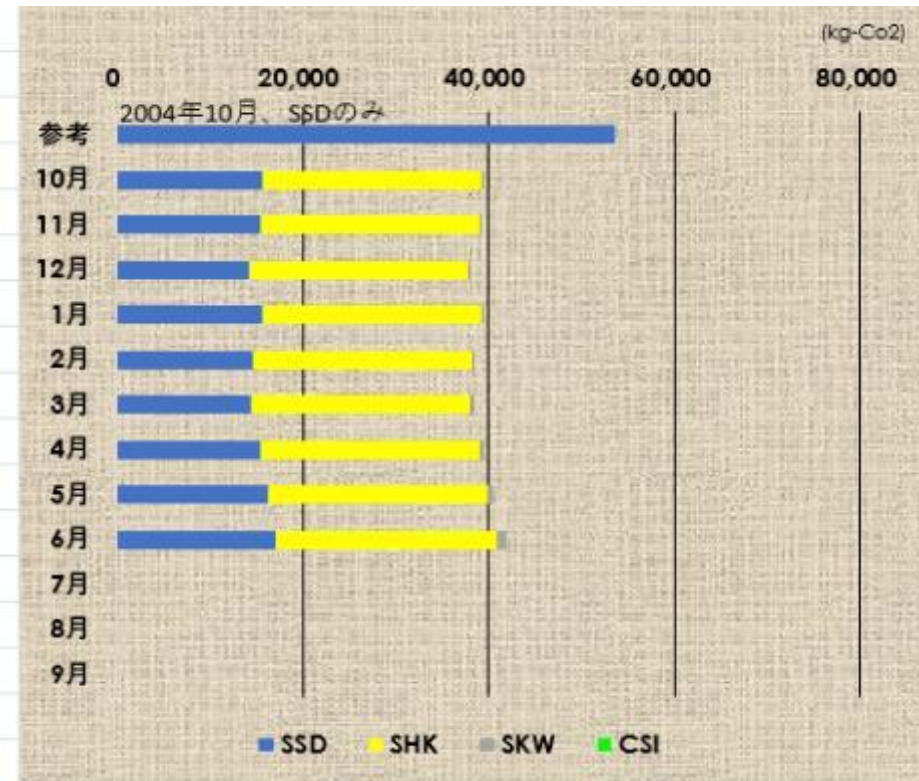
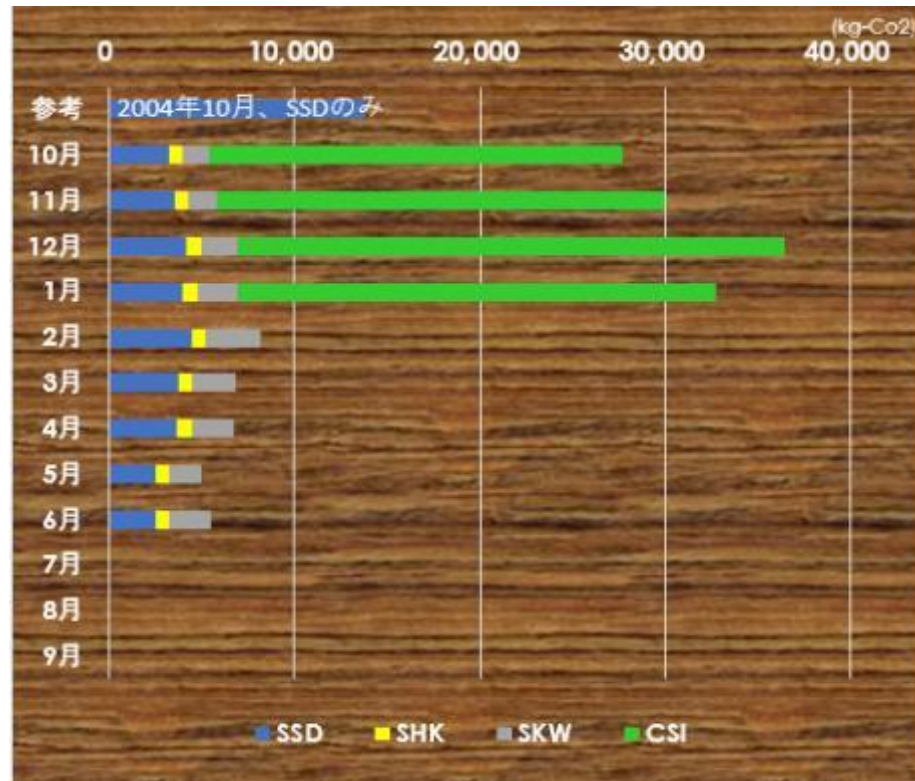
6. まとめ

- ・ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- ・事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- ・環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- ・サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組めます！

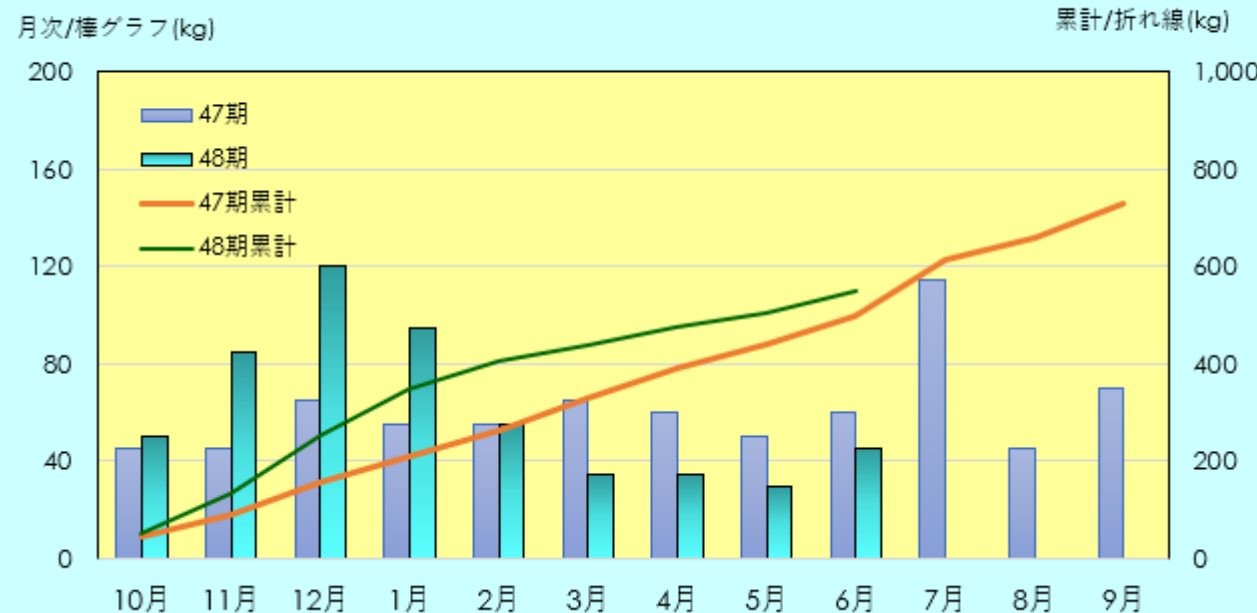
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

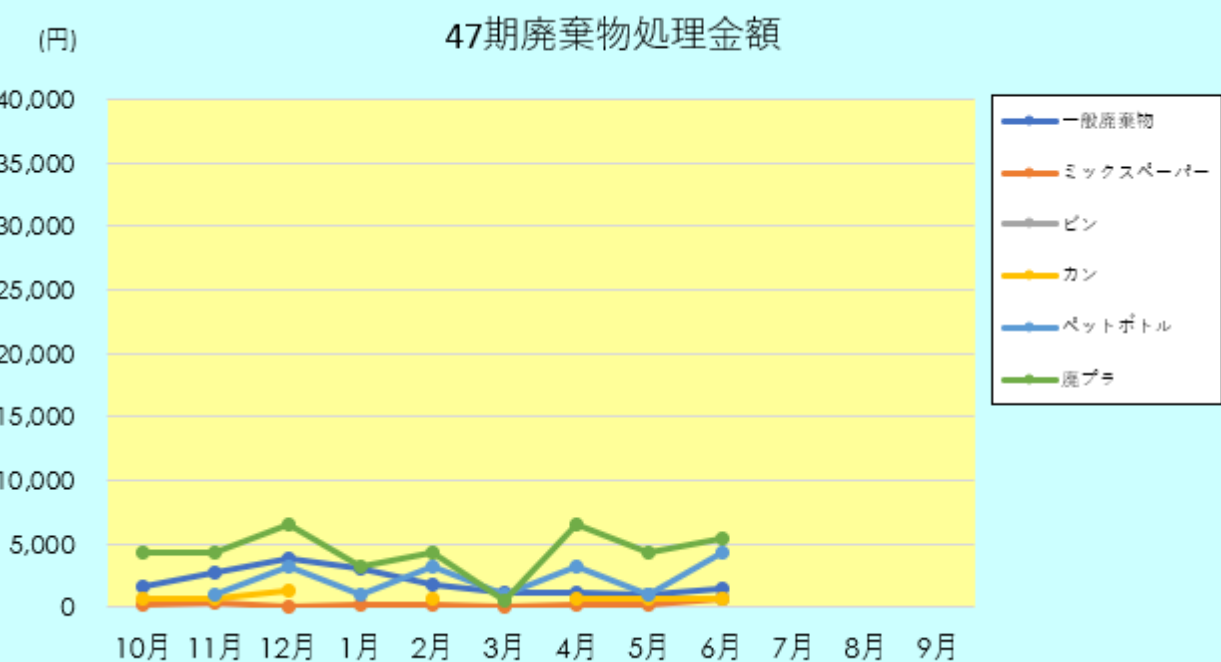
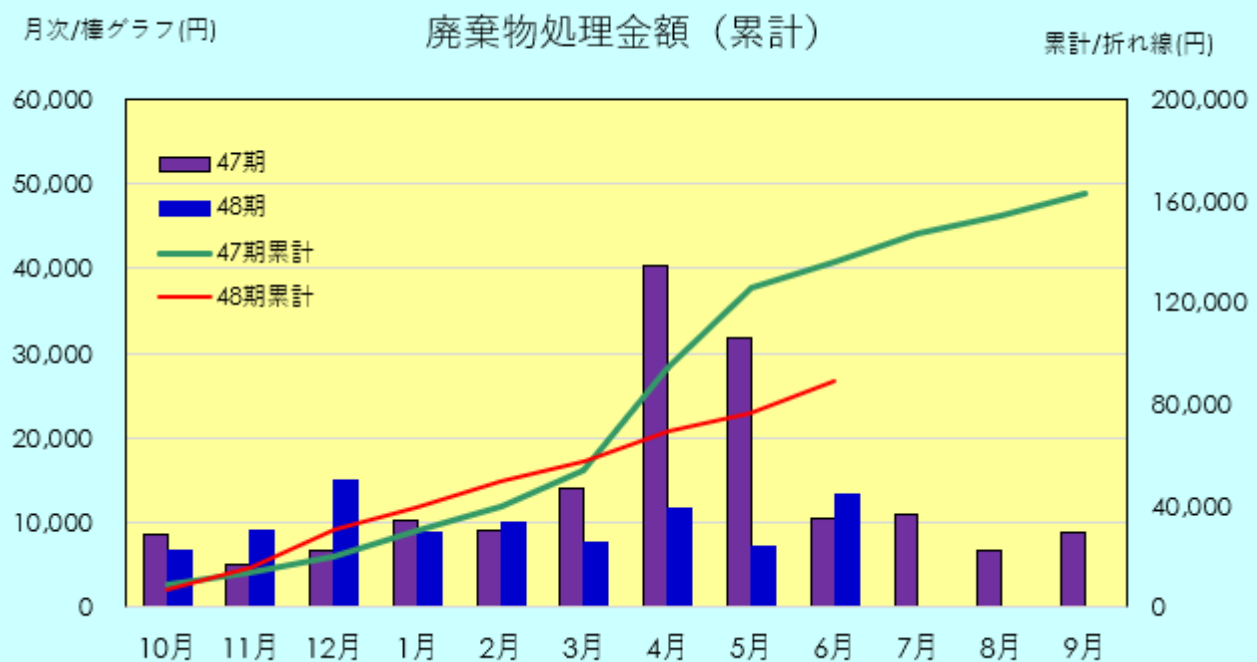
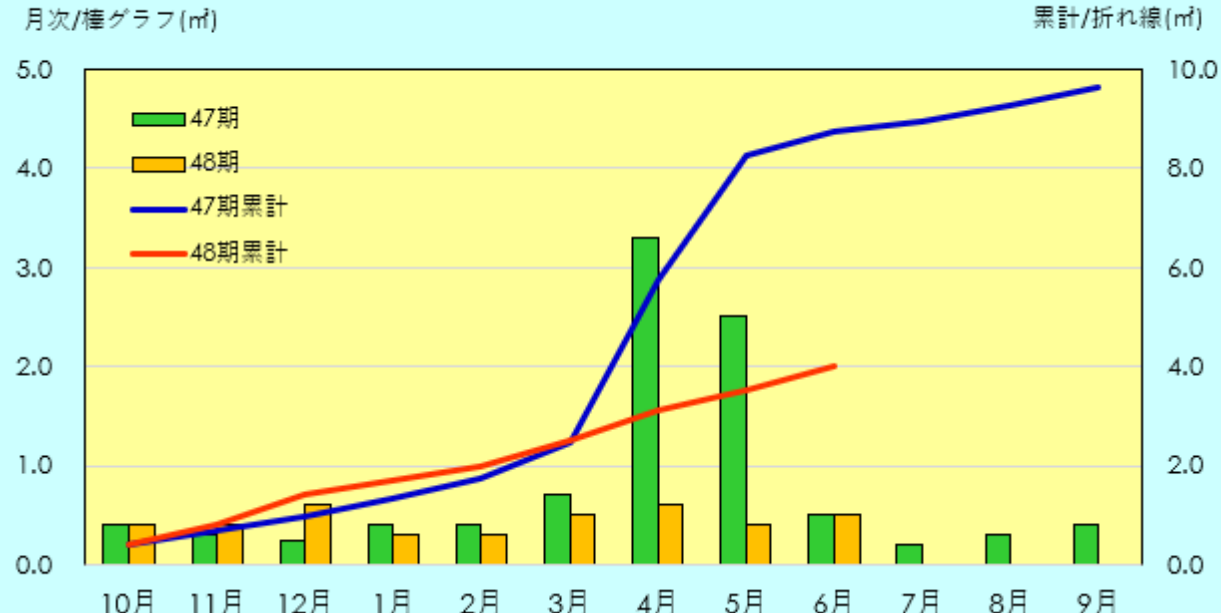
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物 (SSD/本社)



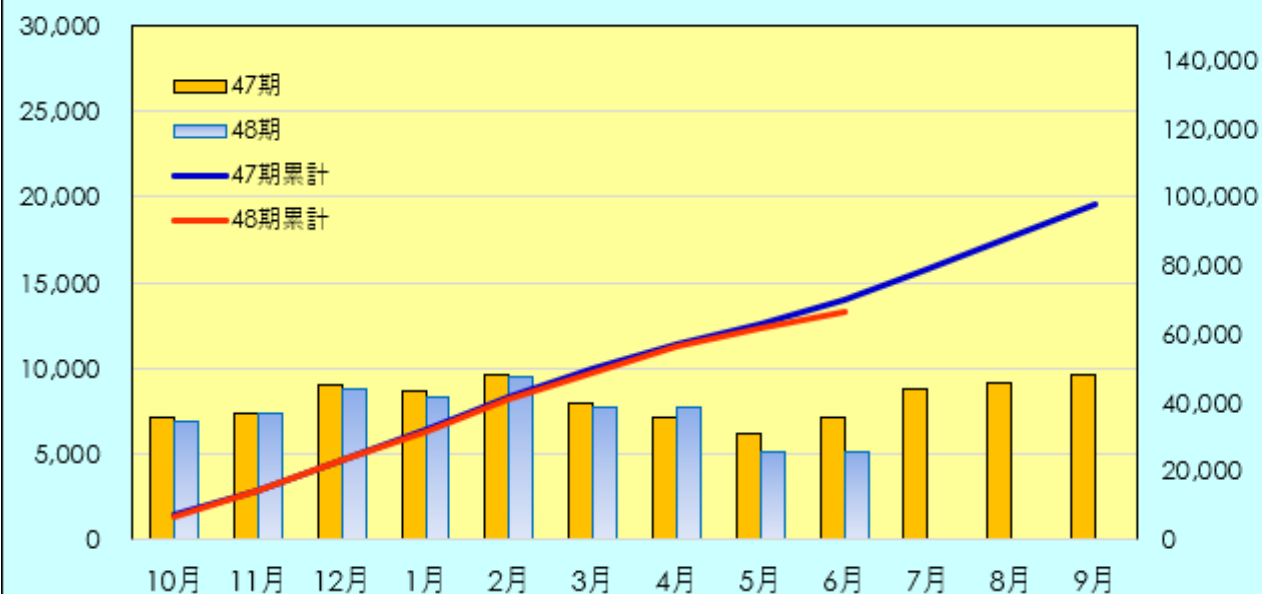
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

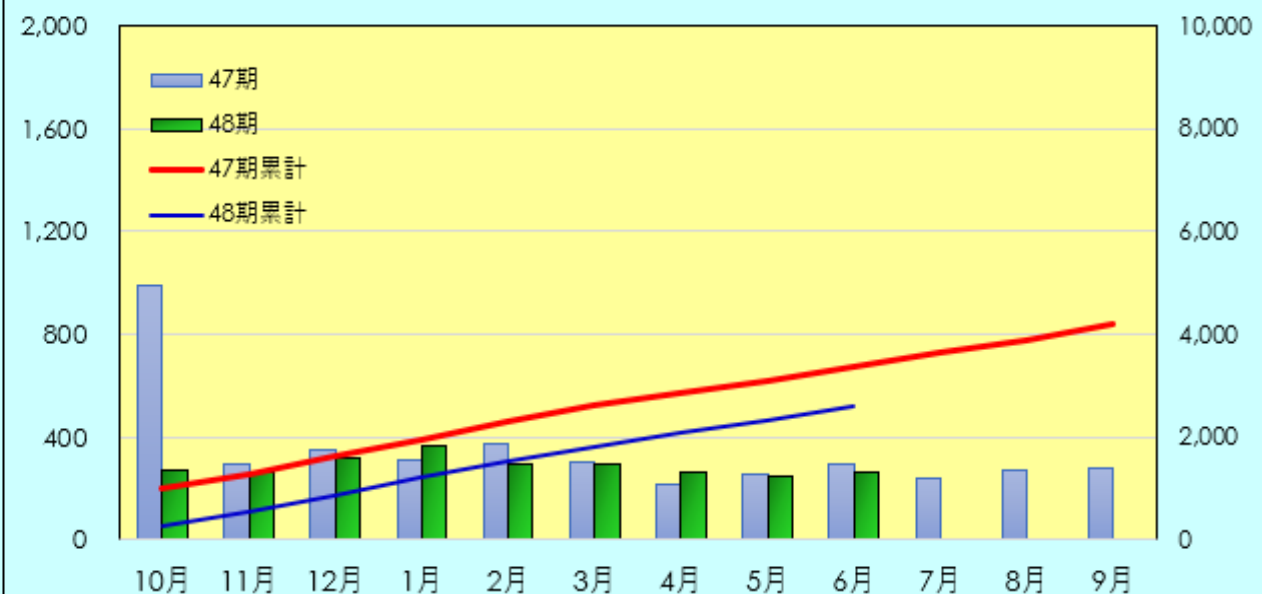
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

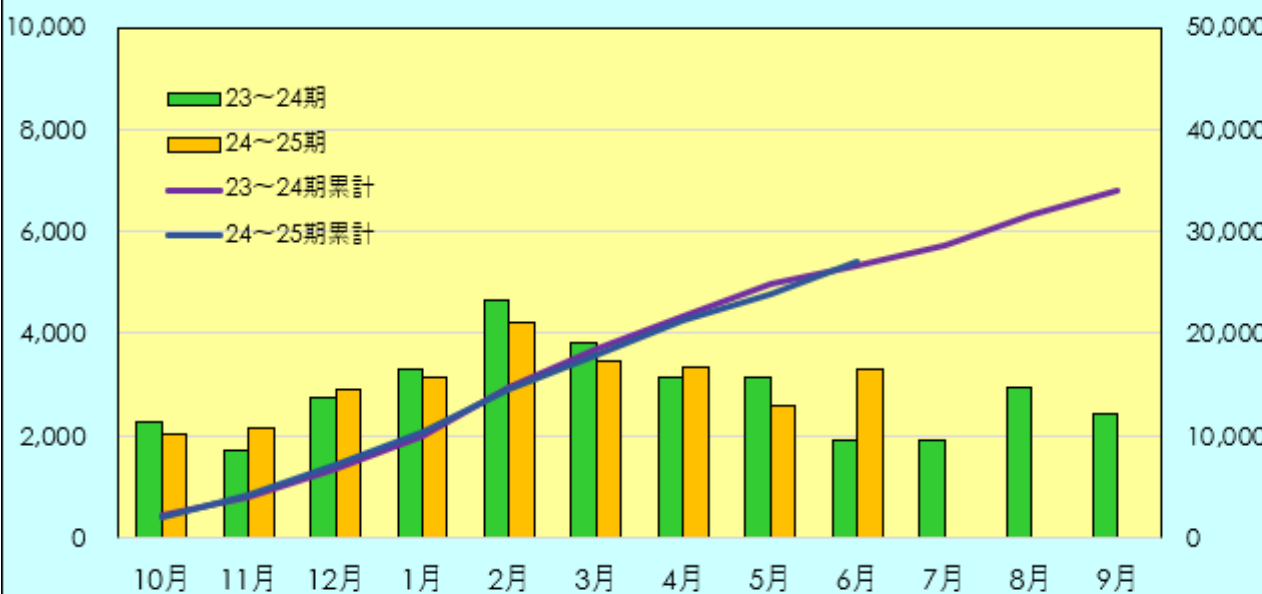
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

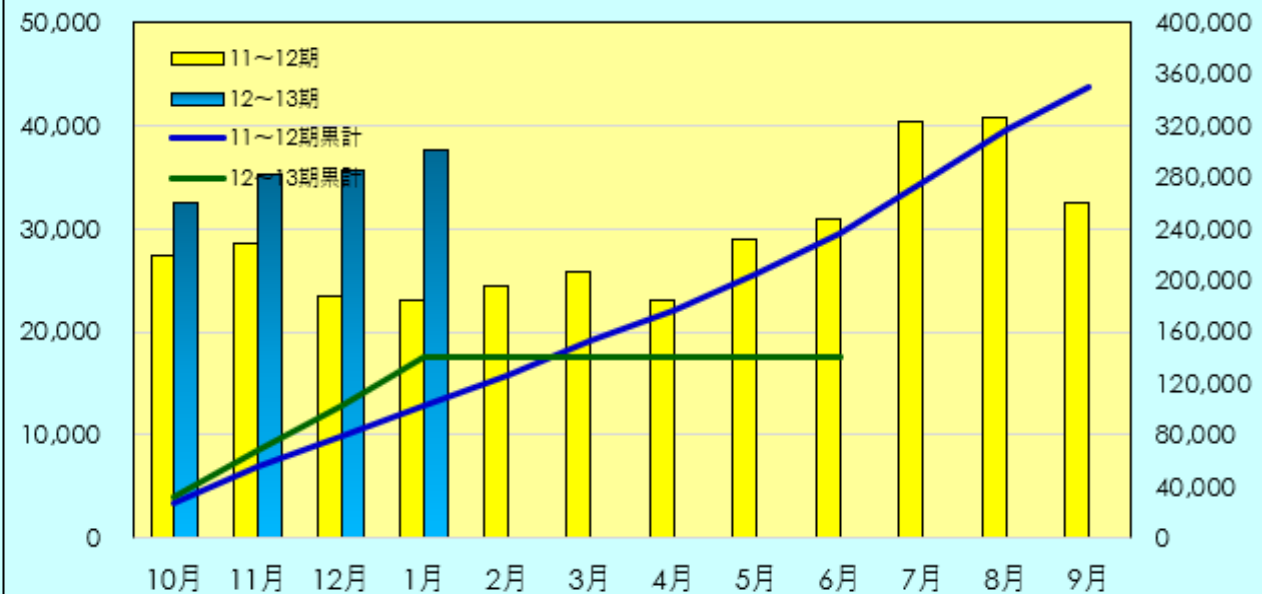
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシン大学ビジネス実務講座 「不具合対応」「情報セキュリティ」開催

2026年6月26日に、サンシン大学ビジネス実務講座「情報セキュリティ」を開催しました。本講座では、社員一人ひとりの情報セキュリティ意識向上を目的に、日常業務で実践すべきポイントなどについて学びました。

また、2026年7月10日には、サンシン大学ビジネス実務講座「不具合対応」を開催し、全社員が品質マネジメントについて理解を深めました。当社グループはメーカーとして、全社員が品質に関する共通認識と正しい知識を持つことが不可欠であると考えており、品質意識の向上と継続的な社員教育に積極的に取り組んでいます。

今後もサンシン大学では、さまざまな講座を開講し、社員一人ひとりの成長を支援するとともに、企業価値の向上に努めてまいります。



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（6月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

